

# 展示会いろいろ すぴんおふ！

自己責任！間違ったらゴメンなさい…

☆旅行記にも書きましたが、インド訪問時、「お香にカビが生えるのを防ぐため、箱の中にシリカゲル(湿気取り)をセットしてください。」と繰り返し話すものの、一向に通じず…。

電子辞書で silica gel を表示して見せると、「オウ!? シリカ ジェル！」

じゅげむ じゅげむ ごこうのすりきれ

かいじやりすいぎよすいぎょうまつ うんらいまつふうらいまつ  
食う寝るところに 住むところ やぶらこうじの ぶらこうじ パイポ パイポ パイポの シューリンガン  
シューリンガンの グーリンダイ グーリンダイの ポンポコピーのポンポコナの ちようきゅうめいの長助

↑有名な落語の一節ですが、これって むか～し、外国の人名を聞いた日本人が、それを日本訛り(?)の発音であらわしたただけと思われ…。

シューリンガンって、チューリングン→ゾリングンですよ、多分…。

ツイッターとか使って みんなでナゾ解きしたら、面白いかも？ それとも、もう やってる？

なんにせよ、ファンタジーって、フタを開けてみると、「なあんだ…」ってものが多いですよ。

ソロモン王の指輪も、封蝋用の指輪で、悪魔は異民族(技能 集団)のことかと。昔は一子 相伝、秘伝な感じで技能を売りにしていた模様。(日本にも沢山の技能集団が移民して、時には争奪戦も起こ

ったそう)

話は戻って、以下はチベット仏教の様式ですが…。

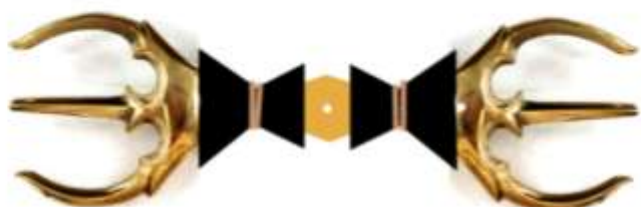
《右手に金剛杵を持って煩惱を打ち砕き、  
左手の金剛鈴を鳴らして仏に祈りを届ける》

元は 旅の僧侶が武器をちらつかせて山賊を追い  
払ったり、クマよけベルを鳴らしてただけかも？

金剛杵の鬼目も『三鈷剣 作ってみた』方いわく、  
ただの目釘ですし、持ち手に刻まれた模様も 布/  
革を持ち手に巻いて紐で縛った時の…

《ピンポ〜ン♪》

おや？ 誰か 来たよう d



# ☆ノーチェック？

業者サンからの要望で 実物見本を手渡し or EMS 等で送付、発注書に写真・サイズ・重量・注意事項一式(文章・図面・加工した写真)を一生懸命 掲載してます。…が、折角のデータを読み込まず、下請けに丸投げする業者が大半。

76	Wooden Leather Sticks	cm	gms						
77	Black Oak Fine Quality								

Leather

Arrived goods, good wood & deep slit  
However leather & misaligned gli

mm over case, woman can't hold.

\*Please, sure 14cm.  
\*Please, sure use hard & dark oak wood. かしいのき、つかって。  
\*Please, sure carve deep slit on center. せんたー、ちゃんとかーびんくして。  
\*please, sure dry material wood. mold problem. かわいたきを、つかって。にほんでかびます。

リン棒に使わせてる D A R K O A K W O O D は、黒に近いコゲ茶が一番 密度が高くて(硬くて)、シンギングボウルを鳴らす時に音が良く出ます。(あくまで経験則ですが…)そして、逆はダメ。別の木でスカスカな とっても安い白木(虫喰いだらけ)で作ったり、ソレに色を塗って材質を誤魔化したり、同じ木であっても コゲ茶よ

りも安いのか、薄茶色やらマダラ模様の軽い木で作ってきたりも。

※白＝×、焦げ茶＝○、木によって異なります。

こういった、別の材料を使うことで材料代を浮かせて、差額をポツケに入れた時は、頼まれもしないのに大きめに作ったり、いつもはしてくれない面取りする(カドをならしてケガを防ぐ)など、パット見、仕事してます感を出してきます。

これを防ぐには、重さを発注書に明記した上で信頼できる業者さんにチェックさせること。但し、その重量は、マトモな品が届いた直後のもの(まだ水分が沢山含まれてる状態のもの)であることが肝要。一般家庭でもそうですが、あまり買い置きしませんよね？ メーカーも余裕がないので作り置きはせず、受注→製造→納品、のサイクル。もちろん、機械で乾燥は2させてますが、ネパールのソレは'21 現在 旧式で、完成して時間が経つほど水分が揮発して軽くなります。(※一ヶ月、陰干し…)

このあたり、なかなか理解が得られない(面倒がられる)のですが、届いた商品はすぐに/売る前にテータを取る！初めて仕入れた品は全て計測。平均&幅(例：103g(92~107g))を次回の発注書に必要です。

タイヤキで例えるなら、型をワザワザ特注して夕



イヤキの厚みを減らし、中のアンコを減らすことで差額をポッケに入れるような感じ。

もちろん次回 以前、商談で見せられたサンプルと違いすぎた時は、そのデータをビシツ！と突きつけて「全部、見てるんだぞ！」と苦情を申し入れます。

(こちらが見てないと思うと、好き放題にグレードダウンさせてきますからね…)

あと、写真も あらゆる角度から撮っておかないと、次回以降で意匠を誤魔化されます。実物を残すのが一番ですが、お客サンから頼まれるとイヤとは言えず、売ってしまうことも…。

とは言え、それでも「(売っていいものは)完売しました。」と心を鬼にして お断りしとかないと、(私どもも含め)最後は お客さまが泣きを見ます。「(お店に よく来てくれる)お客サンから頼まれちゃってサ~? もう一度、仕入れられない?」

残しておくものは、特に出来の良いものを自分用・元請け用・工場用・検品 業者 用の最低4つ。

自分の所で売れ残るか? お客サンの所で売れ残るか? 末端 消費者が泣きを見るのか?

誰でもババ抜きはイヤですよ…。

何度も書いてますが、ネパールが、インドが、中国が、どうではなく、日本でも欧米でも人 次第。ちよつと よたつた感じで、

「この程度の給料でやってられっかよ！」

「遊びに行きてえ〜…。」

などと愚痴りながら仕事をしてる方が大多数。

…監督する親方や元請けの腹積もりも大きいですが、ネ。（このあたり、『タミヤ模型の仕事』に出てくる型屋の話をご参照…）

毎回、品質が違うのは当たり前！は確かですが、誤差や許容差では済まないレベルが多いです。

基本、元請けは下請けから届いた完成品を ろくに精査しないものだから、廃棄するしかない産廃が届くことも…

見ないのも問題ですが、（直属の？）下請けとつるんで、分かっている紛い物を送ってくる業者も。

「ゴメ〜ン、よく見てなかった♪ 次からは気を付けるから、（更に）詳しく発注書に書いて！」

実物 見本も送って、発注書にも写真や詳細を掲載してあるのに、なぜか訪問時に確認を求められたら危険です。（複数回、経験があります…）

後からクレームを入れても全く取り合って貰えませんので、訪問前に念入りに資料を用意して、頼まれなくても持参。目を皿のようにして検品しましょう。

間に立ってくれている検品業者サンの努力にも限界はあり、色々あって 事前 通告 無しのグレードダウンは避けられません。鑄型なら型を小さくして材料を少なく、デザインも単純にした挙げ句、仕上げの手作業まで手抜きするなどは日常茶飯事。一旦、キャンセルするなどしないと、手抜き品用の型を使い潰すまで(減価償却が終わるまで)、付き合わされます。

単純で作りやすい(不良率の低い)形にする



音に関係するものは音質 低下。

見た目を楽しむものは末端客の購買 意欲 低下。

型に流し込む材料を減らす

or

型自体を極限まで小さくする



不良率 拡大。汚い茶色の補修だらけに…。

特にバージン(新品)の真鍮が材料のピカピカが売りの品だと、穴ぼこをオレンジ色の金属で埋めると、違和感がハンパないです。(高価な品に やっていい補修じゃない…)

これは多分、楽ちゃんに補修する為、融点の低い銅を使ってるのではないかと。(見た目が売り、かつ

高価な品に施すことが許される補修じゃない…)

ただでさえ、手作りなので、小さくすると造りも仕上げもシンプル/ザツになりがち。(般若心経を米粒に書くような丁寧さを要求するのは、品物の値段的に無理…)

かつて、とある商品は 某国 首都に事務所を構える某社から仕入れてましたが、問題点や改良点を伝えてもハイハイ言うだけで、全く対応せず…。仕方ないので製造元と直に取引。縁が切れました。

かと思えば、「今回、こんな品物が届いたのですが どうでしょうか?」と連絡をくれる誠実な業者サンも。

こういった所でこそ、国や会社の大小、氏素性に関係なく、正しく その人柄が顕れるというもので、頭が下がります。



☆下請けは人間扱いされない？

現地に詳しい方いわく、元請けによっては下請けを、平安時代の地下人(じげにん/じげびと)のように扱ってる(同じ人間としてみてない)そう。

会っても まともに顔を合わせたり、話したりもしないんだとか。

日本の大企業でも、一時期は下請け用のトイレを別に用意するなど、接し方には 目に余るものがあったとか。(仕事の丸投げ先である頭が上がらない 一次 下請けだけ例外だったそう…)

お金を持ってない=マナーがアレ、というイメージからですかね？ ただ、聞いた話では むしろ大手社員の方が(一部?)、(ry

…と、話がそれましたね。

そんなわけで(相手によりますが、)品質改善の要望を出しても マトモな対応(下請けとの連携)は期待できません。

☆最近、定番とした樹脂香(2種)ですが、個人的にアロマポットで焚くとイマイチな為、アルコールランプ+三脚+プリンカップで試そうかと。

アルラン→カインズ→新潟精機 R - 1 (約千円)

三脚→アマゾン→中国製(約 400 円)

プリカプ→アマゾン→遠藤商事 特大(約 450 円)

※三脚とプリンカップのサイズが合うかは博打。

弊社 社長の のたまう所に拠れば、ヘビーユーザーは(時々テレビで見る教会の儀式でやってるように)樹脂香 自体を燃やすそう。教会だと振り香炉。振り香炉は他社サンが通販してます。

つい、燃えてる部分が香っている、と考えてしまいますが、実際は燃えてる部分はローソク代わり。炎に炙られている部分が香っているそう。

線香も理屈は同じで、薫香堂様のウェブショップ、”気に入った香りの線香を選ぶコツ”に詳細有り。

☆日本のお香メーカーもそうですが、基本、お香は『重量』売り。インドお香も、箱に『Net Weight 20grams』など記載あり。

ですので弊社でも本数の記載には『約』をつけてます。(カタログはイチイチつけてるとインクがもったいない上、スペースを取るの、但し書き

を付けた上で省略してます)

1本1本を計ったデータを元に平均重量を出し、  
○グラム=約○本とするわけです。

1本1本 数えて箱に入れてると大変ですからね。  
(少なくとも弊社では そう)

あと、お香を作る度に線香なら太さが、コーン大  
香ならサイズが多少 変わります。

弊社の白檀線香250グラム入は、最初が700  
本入で次が580本入…。

白檀風の香りがする安いコーンお香は、同じ1k  
gが、千粒あらため、750粒入に…。(1粒あたり  
り、1グラム→1.3グラム。大きくなりました)  
説明ラベルを1個1個に貼ってみたり、カタログ  
の記載を変更したりと、結構な手間です。

高級線香  
沈香  
香樹林

沈香、インド白檀、中国桂皮、  
甘松、山奈等の天然香料を配合。  
さわやか&まろやかな甘み。

『沈香(じんこう)』

香樹林

円

沈香  
香樹林  
(短一把人) 0206



☆タダより高いものはない？

空港には水が出てくる機械が設置してありますが、飲まない方が無難かと…。

某国では公園にありそうな噴水タイプに、空港の職員がティープキス☆ 水が出る部分をくわえて飲み続けているのを拝見…。また、とある国では旅行客が、紙コップをセットしてボタンを押すと水が出てくるタイプにの注ぎ口に、飲み終わったペットボトルの口をウリ！ウリ！とムリムリねじ込んで水を補充しようとしてるのを見たことが…。

空港に限りませんが、ビュツフェスタイル(※通称バイキング)でも、大声で話し(ツバを飛ばし)ながら、食べ物をとる人が…。以来、宿泊時は朝一番に食堂に行つて、手付かずの食べ物を取るようになっています。

☆生きてれば、どうしてもノドが渴くもの。自販機で買えばいいじゃないか？と言われるかもですが、会場の自販機よりコンビニの方が10円安い！

しかして、コンビニまでは結構な距離が…。敷地内にあつたらあつたで、レジ前は長蛇の列…。

あらかじめ、コンビニで買って自宅(or 会社)の冷蔵庫に入れておいたり、空になったペットに飲料を注いで再利用するのも手。(会期後に廃棄)

'21 現在、会場への行き来は車ですが、基本 コンビニ コーヒーを買うことはせず、コーヒーを(来客用 紙コップ)に入れて持参。

まあ、自宅で水筒に飲料を詰めて持参すればいいだけの話なんですがね…。但し、大きさと重さの割りに入る量が少ない上、駐車場からブースまで遠いと少し辛いかも？ あと、多忙な場合は、フタを取り外してコップにするタイプは、飲料をこぼす恐れがあるため、御注意。(実際 こぼしました)

☆首から下げる名札、バッジ(胸章)。名刺交換を手早く行えるよう名刺を10枚以上は入れてます。(但し、搬入出でどっかに引っかかったり、風で舞い上がって名刺がバサッ！と落ちたりも…)



☆かつて、ある会社の社長サンが、某国・低所得な  
方々が住む街（スラム？）を訪れた時のこと。

あたりの人が一斉に社長に注目したそう。途上  
国の人々の目は輝いてると言うが、オオカミのよう  
に爛々と輝いていたそうじゃ。（輝く意味が違うの  
ぢゃ〜…汗）

しかして、社長サンの隣を歩く案内役 兼 護衛  
（地元のマフィ…、自警団のお兄さん）に気がつく  
くや 皆さん一斉に下を向いた、とも。

貧しいと心 清らかで助け合う…と言うが、身内  
限定らしく、災害時に一人暮らしの高齢者を押し  
のけて援助物資を奪ったとゆふ話も伝わってくる。

あと、自分と同程度か それ以上に貧しい者には  
ともかく、自分よりも余裕があると見ると、身ぐ  
るみ剥いだり殺したり…、もありうるそうじゃ。

純朴な田舎者でも、生活に余裕が無いと 戦国時  
代のジパングの農家のように山賊に早変わり。（漁  
民なら海賊！）どこへ行くにせよ、油断は禁物。  
ピカピカの服装で出向くのは危険じゃ…。ぼった  
くり大歓迎！と触れまわてるよーなもんじゃしの。

☆アマビエの正体はペスト医師かも？とささやかれる昨今。豆まきも元は地方から都に押し寄せた難民に豆を配給した名残である模様。(要出展！)

貰う側の年齢(体格?)に応じて、マメの数を調整。(高齢者は来ること自体が大変だから、多目?)

病気を持ち込まれたり、泥棒になると困るから、技能を持たない難民(鬼)は外、即戦力(福)は内？

コロナ不況の昨今、スーパーが売れ残りの古米をパン菓子にして配るとかありませんかね？(汗)

## ☆ミニレターで請求書は許される？

大手通販では、納品書等 信書は 封筒に入れるどころか、お客様にダウンロード＆(自前で)印刷してもらおう ご時世…。

しかし、慣習とは恐ろしいモノで、『失礼になる』為、弊社では未だに紙の信書を同じく紙の封筒に入れて郵送が基本。(環境に優しくな

同じ郵送でも、定形封筒(84 円)ではなく、ミニレター(63 円)で出したいのですが、そちらも『失礼になる』為、まだ使えず…。

年賀状等は創業時に お断りしてますが、マナーとして広く染みついている分は無視できまへん…。

年賀状、折り曲げて紙相撲が出来るヤツとか、紙ヒコーキになるヤツとか、出ませんか？

お相撲サン公認で裏に手形が押されてたりとか、ガン○ムの飛行機に変形するロボットみたいの。

☆通販で送られてきたハコは、捨てずにお客様への発送に使ってます。勿論、宛先がオシャレなお店の場合は、D紙業様 謹製のへもじ箱を使用。いちいち、ハコのサイズをチェックしなくて済むようメジャーで計測、メモを貼っつけてます。  
※EMSは、長さとお回り(一周)の合計がサイズなので注意。(奴隷貿易の名残?)



☆お客様が 弊社へ来られた際、荷物を置く場所に  
困ることが多々…。(特に冬場は荷物が増える)  
レストランを真似して、籐かごを台車に載せて提  
供しました。



この籐かご、少し傷んでいますが、捨てずに残し  
ておいて良かったです。昔は、難有品や見本落ち、  
廃盤 売切品などに値札を付けて、カゴ盛りに…。

展示会 初日の目玉(客寄せパンダ)としてました。  
初日の朝は、さながらバザー会場…。

「えっ?! 特価品、もう ないの?」

「朝一番に売り切れちゃいました。」

↑よく ある会話でしたが、今はムリ…。

## ☆スポット商品 特有の悩み

インド・ネパール雑貨は原則、箱 無し。

スポット商品は特に不自由で、中に入れた商品が見えて取り出しやすいチャック付き袋を愛用！…  
するのですが、時にはサイズが合わなかったり…。

商品が横長→袋の底側を二つ折りにしてセロテープで仮留め→荷造用 透明テープでトドメ。

商品が細長→袋をクリップなどでカッターマットに固定→カット→切断面で透明テープでカバー。



※注意！ 透明テープを貼る時、静電気のせいか袋がフワツと浮いて、袋が勝手にテープに引っ付いたりも。(剥がそうとすると袋が傷みます)



☆コットン(木綿)は、黄色い花が萎んで実になり枯れて中にワタが出来るそうで、金羊毛の正体がコットンなら、弊社のコットンバッグも金羊毛m…他社で既に金羊毛ブランドが販売されてますね…。

一般に知られてないものを他人に伝える際、身近なもので例えるのは古今東西、同じこと。特に昔は自分の国しか、知らない訳で…。

オレンジを指して金(色)のリンゴと伝えたのは、実のつけかたや果実の形などが、自分たちの知る中で一番 近かったからなんでしょうな。

(たしかに金のブドウではムリがある…)

繊維と言えばウール(羊毛)！の国の人からすれば、木の枝に金色の羊毛が生ってた、と表現するしかなかったかと…。

その証拠に(?), 某ネット辞書には むか~し 描かれた 木の上にヒツジが生(な)ってる絵が…。

そういえばオレンジと言えば、昔 社長が 某国へ出張。赤子を抱く年配の女性へ「可愛いお孫さんですね~。」→「いいえ、娘です。」→「え…?(汗)」

過酷な環境で栄養状態が良くないと、寿命が恐ろしく短くなりがち。大昔は 10 代で大人、20 代で老人だったとか…。

栄養価の高いものを計画栽培できる技術がある

と老化が遅い訳で、寿命の短い側から見ると…。

「こちらは世代交代したのに、ピンピンしてる  
う?! もしかして不老不死!?!」となり…。日本だと、  
縄文人は農業が出来ず、アイヌ民族は出来たそう。

老化の遅い人達が普段 食べてるオレンジを、不  
老不死の/生命の果実としたのも うなずける話。  
みかん業者サンのサイトによると、日本のミカン  
は 昔の天皇が不老不死をもたらす非時果菓(橘の  
実=柑橘類=みかん)を求め、家臣が苦勞をして外  
国から持ち帰って植えたものだとか。

白髪 三千丈(9 km)とか、オーバーに伝えるの  
も昔から…。インドの方の「明日、連絡します。」  
は 明日にでも=可及的 速(すみ)やかに、という  
意味ですからねー。このあたりは、言語学?

\*支払いの件は、光の速さで返事が来ますがね(汗

アルゴ探検隊は、他国から金羊毛(木綿の苗?)  
を強奪して逃げましたが、まさしく産業スパイ!  
ガラス職人を島に幽閉・家畜は去勢してから輸出・  
果実は種をほじくり出してから輸出…等々、etc。  
今も昔も変わりませんね。

☆紙箱に サンプル入れて 送りましたよ

とあるコワレモノを郵便で送るのに、N社 謹製の弊社オリジナル紙箱(※)を使用。



(※)普段はインドお香の小分け売り用。インドの高級パッケージは日本では×…。

(外寸 L 155 x W 58.5 x D 26mm, **13.6g**)

1枚 40円程度で販売可…ですが、運賃・手数料等含め、詳細はお問い合わせ下さい→[047-469-1116](tel:047-469-1116)

重量は箱込で50g未満、郵便代120円。宛名用面積は狭いけど、封筒(5g)に入れると50g超過で140円となるので、そのまま持ち込むと、「定形封筒(約12×23.5cm)より小さいですね。見落とす可能性があるので、紐で縛って、その紐に荷札をくくり付ける規則となっています。紐と荷札の重量加算で50g超過。140円です。」

それでも紐と荷札の代金やら手間賃やらが加算される訳でもなく、助かった…と思いきや、括り終わるまで待ったり、印字された宛名を確認させられたりと、時は待たない、過ぎゆくのみ…。忙しい中、持ち込んでくれたKRさんには酷だったそうで…。それ以前、窓口さん スミマセンでした。

余談ですが、こういった箱は、普通に開けると蓋に折り目がつきますよね？ でも、そこでコレ！平らで薄くて長い頑丈な金属製ペーパーナイフ！

これさえあれば、大丈夫！ へえ～、すごいなボブ！ でも、どうやって使うんだい？

いいかい、ジョニー。まずは、コイツを奥まで差しこんで…。そしたら先っちょを使って、引っかかり部分をグツ…と横に押すんだ。…ほうら！ 持ち上がった！ キレイに開封できたぞお？ (ドヤ a



☆ F a x は相変わらず感熱紙タイプを使っています。  
(チョコ チョコ宣伝 f a x が来て弱りますが…)  
赤いラインが出て交換する時は、半端に余った紙  
を芯から外し、新しいロールの端に被せ、裏から  
セロテープで留めて 余さず使っています。(但し、  
自己責任でドゾー。)2020年モノタロウで購入中。



大抵は、「必要ない方は、にチェックマークを  
書き入れて返信して下さい」とか、「この番号に送  
信してください」とか記載されてますが、無駄に  
終わった記憶があります。逆に無駄に終わらな  
かったこともあります。F A X する際、先方のゴ  
キゲンを損ねそうなことは書かない方が無難。

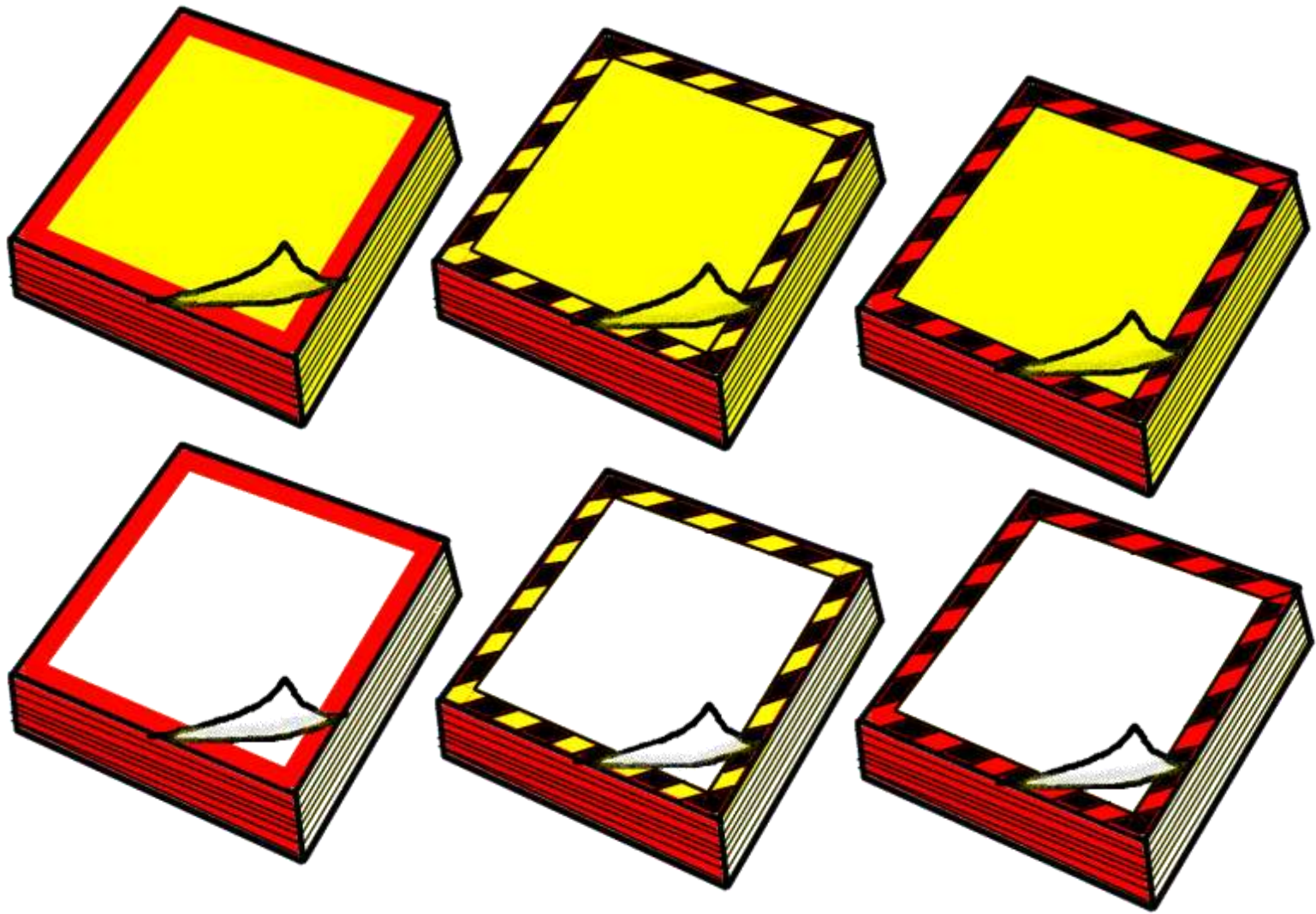
☆以前、黄色い付箋を愛用してましたが、どこが手前か分からず、手に取るたびに確認するのが面倒で、手前を赤マジ(魔法のインキ)で塗りつぶしてました。



あと、赤線を引いて枠を作ると、貼った後で周囲の風景に溶け込まず、目立たせられますが、面倒。



いっそ、最初から赤枠が印刷されてる ver. とか、バリケード、赤バリケードが 発売されませんか？ 自作ラベルや貼札には よく使ってますがネ。



関係ないですが、赤が目立つのは血の色だから？  
あと、ゼブラ(縞々)が目立つのは、黒い部分(よく見えない闇の中)に生存競争の敵が潜んでる可能性から？ 黄色が相方なのは、黒と並べたときに白より目立つから…？ (←素人考え) 黄黒ゼブラは、ロック○ンのメット○ルとかキャラ入りで子供用(枚数 少なめ)を売り出しても '良いカモ'。紅白ゼブラなら、お祭りのねじり鉢巻きに関連づけて、'日本 お祭りグッズ'として観光客に売r

☆届いたら音が出るかを確かめよ♪

ネパールからティンシャが届いたら、お金を払ってプチプチと新聞紙で包ませたのを、1個1個皮ムキムキ…。2枚の円盤をそれぞれリン棒で叩いては「音が死んでないか」をチェック。

最悪、運送中に受けた衝撃で薄いヒビが入って音が駄目に…。(※製造過程で、既に外から見えない空洞があったのがトドメを刺されただけ、というパターンもあり)

円盤同士の間にもクッション材を挟ませると◎…なのですが、中々やってくれませんね。なんにせよ、多少お金がかかってもゴミが届くよりマシ。高価なティンシャなどは自分で持ち帰るのが吉！社長さんは分かってても、社員の皆さんは(ry

終わったら今度は、円盤のフチとフチをぶつけ合って、演奏音をチェック。1枚1枚は非常に良い音なのに、ぶつけ合った音はイマイチ…なんて事も。逆にイマイチな円盤同士でまあまあ…かな？という音が出たりも…。不思議ですねー。

あと、革紐の結び目が、ほどけそうなギリギリ端っこの位置で結んであったりしますが、下手にクレームを入れるとネパール側が混乱。パ○ンテ状態に。何も言わなきゃ良かった！って経験は、複数回…。なので、怖くて何も言えません。

それに、長めに結び目を作っていると、結び目か

ら飛び出た革紐が円盤に触れた分、(少々とは言え、)音を打ち消しています。(貼り付けてある値札も同様に打ち消しています)

なので、検品中 or 発送前にチェック、「これだと、使ってる内にほどけそうだな…」と見つけた時だけ、ほどほどの位置で結び直します。

☆輸出商と工場は、同床異夢？

輸出商「模様付けは無料ですが、どうします？」  
我々「是非！」

→品質が極端に低いものが到着。

お客さんに事情を説明、パーツをつけたり、アレコレ時間と諸経費をかけて叩き売り…。(大赤字)  
輸出商はOKでも、下請け(工場側)は同床異夢…。

「日本人は金持ちなんだし、このくらいで死にやあしないだろw」と、誤った先入観と邪な考えを抱く方が大多数だとか…。

☆鋳型シンギングボウルやティンシャは、基本ネパール側がクリーニング済みですが、炭の粉のような黒いものが、表面に付着 or 模様の隙間に詰まったりします。全てを綺麗にするのは大変な手間だし、何よりアンティーク風に見えなくなる為、目立つと思った時だけ、ウェスで磨いて落としたり、目打ちの先端で突つき落としたりしてます。

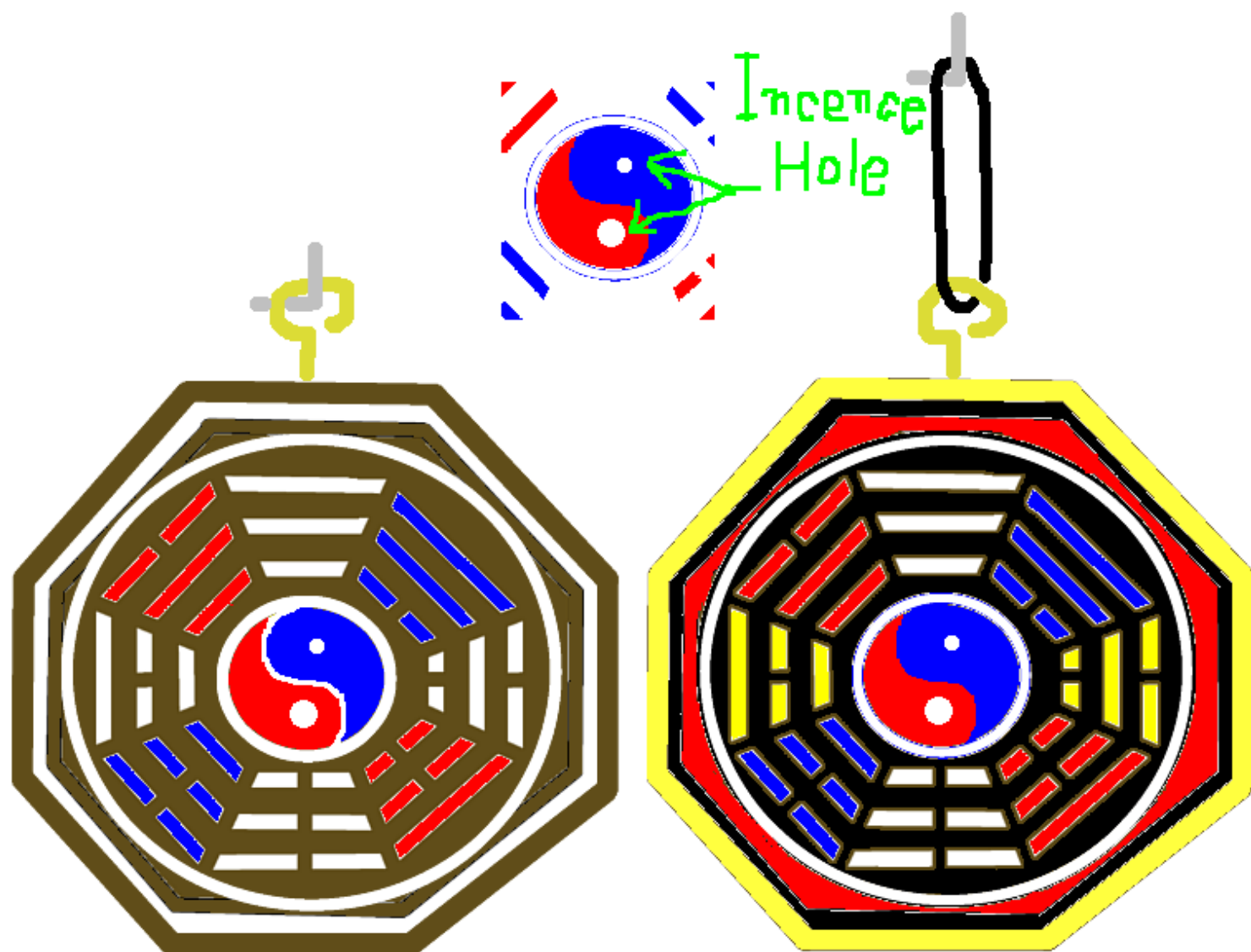
☆夢、破れたり…の段

かつて人気を誇ったシーシャム ウッド製 丸型香皿…。しかし、材料のシーシャム ウッドが値上がりした為、マンゴーウッドでの製造を計画。

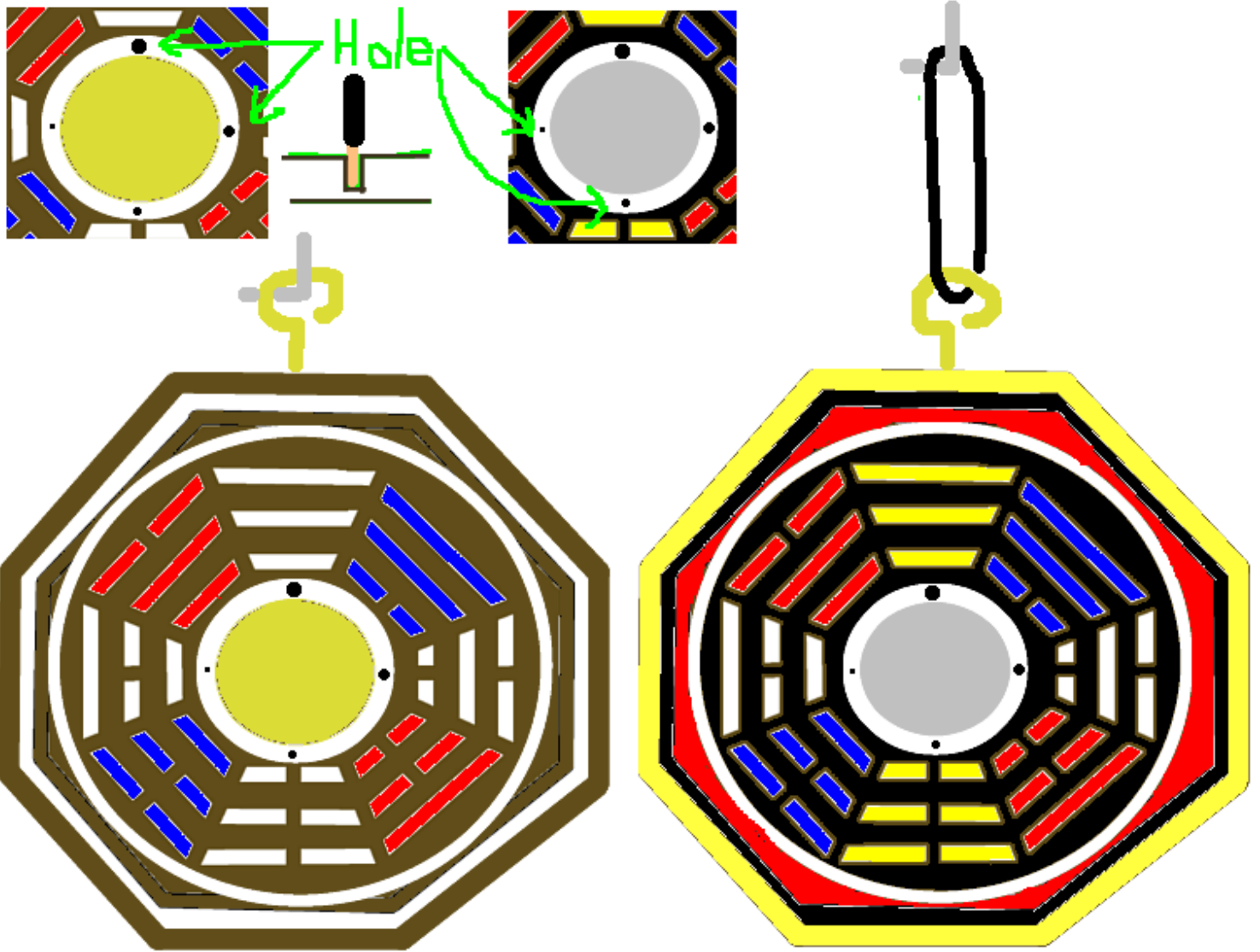




どうせだし、新たにデザインを起こそう！と、昔懐かし、映画『靈幻 道士』に出てた八卦鏡(はつけきょう)をモチーフにしたのが↓



- ※ 1 : 右は、同じ位 安い 黄色い(?)木が材料。
  - ※ 2 : お香を立てる穴は2サイズ、
  - ※ 3 : 左がマンゴーウッド製。焦げ茶色は、虫が喰いにくいよう、プロパンガスで焼いた色。
- 余談：余裕があったら三つ巴でも良かったかも…。  
もしくは、真ん中には最初から何も無しで、別にミニお香立てを作ってセットしても良かったかも。



イメージ サンプルにと、通販で八卦鏡(高いの  
安いの 各1枚)買って送り、今回は試しだから…  
と **超**少量発注…したものの、数が**少なすぎた**せい  
か、サンプルすら作って貰えず…。ガックシ！

お香を立てる穴ですが、貫通させると穴から灰が  
落ちるので、(欧米はともかく、)日本では×…。

竹芯香に使われる竹は太さが かなり まばら…。  
**(※2020年現在、改善)** かつて、お香を差す(立  
てる)穴は、複数サイズが必須でしたが、工場側は



ドリル刃 交換・その他の手間を嫌がってました。  
サンプルは指定通りに作っておいて、実際に届いた製品を見たら全て同じサイズの穴なんてザラ…。

バッグ等の縫製品の場合は、ミシン針の交換を嫌がります。生地が重なって厚い所も薄い所も みんな同じ針で縫っちゃえ！ 針が傷んでる？ 節約節約！ 何、縫製に失敗した？ もう一回、縫っとけ！  
→縫いがグチャグチャ。縫われた布もボロボロ…。

間に立っている輸出商も、人によっては「コイツは手抜きだな…。けど、サツサと発送して金を振り込んでもらわないと、干上がっちゃう！」と あえて見逃したり、(大きな会社だと逆に)少量発注なので緊張感が欠如して見落とししたり…。社員任せで、その社員のチェックが甘かったり、社員と工場がグルだったり…etc.

以上、様々な理由で**監督役**の貿易商を『素通り』。工場側は、「納期もあるし、泣き寝入りするだろ。」と考えてるかもですが、指定通りに作らないとキャンセルする と明言、また、実行する必要があります。あと、間に立つ貿易商が人格的または能力的に信用できない時は、サンプルにOKを出した後、実際の完成品を各1個 送らせ、品質を確認後に最終的なGOサインを出す必要 有り。

いっそ穴無しにして、真ん中に在庫品のアルミ製丸型香立を置くだけでも良かった？(宣伝)



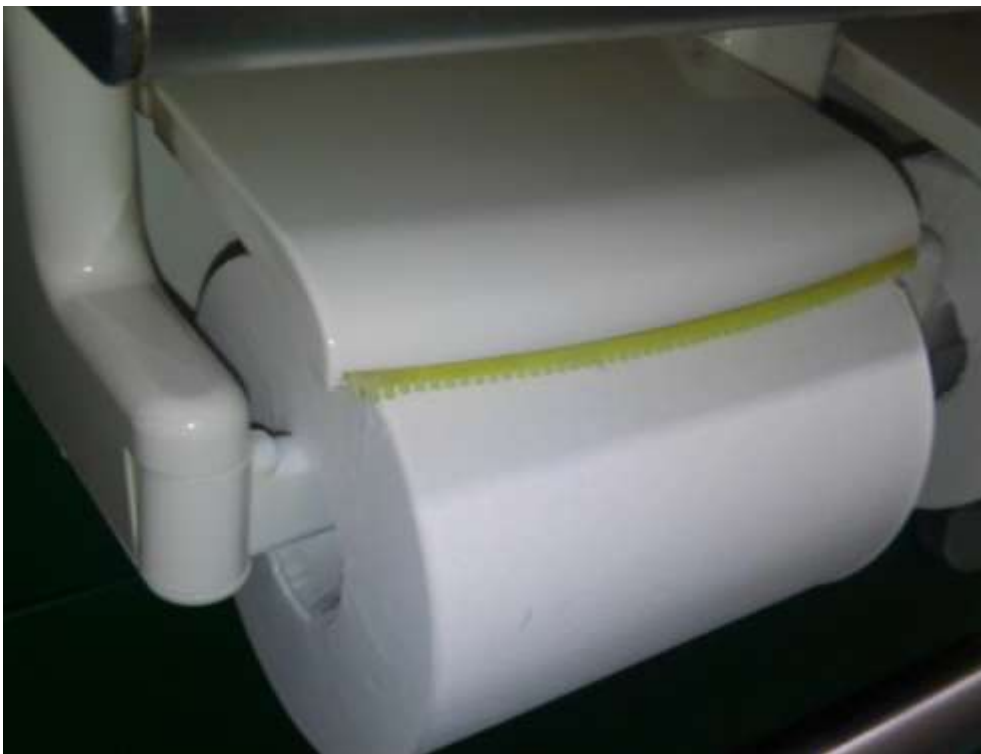
## ☆一工夫

出張時、サービスエリアのトイレで、ペーパーが千切れやすいように工夫された新型を発見…。



関係ないですが、家庭のトイレに シングル用・ダブル用・ウォッシュレット用でホルダーが3つあったら便利かも？

‘20秋、ビッグサイトのトイレでも千切れやすいよう、刃がカーブを描いているのを発見。



☆ワゴムも空気に触れてるとドンドン酸化…。

ワゴム一本、血の一滴…。袋の空気を抜いて口を二つ折りに。クリップで留めてチャック付き袋に入れて、(光が当たらず、熱が籠もらない)引き出しに保管してます。(イチイチ取り出すと手間なので、少量は剥き出し or 小さいチャック付きに入れて机の上に…。)



さて、木製品のカビや金属製品のサビの予防に同封するシリカゲル(英:シリカ**ジェル**)は、中国工場の大爆発以降、大幅値上げ…は置いといて、こちらにも袋に入れ空気を抜いて～、してます。まあ、影干ししてシリカゲルをセットしても、梅雨になると残留水分が滲み出てカビたりも…。



シモジマさんから取り寄せてるHEIKOミニグリップは、袋の口部分の形状 変更で品番も変更。非常に開けやすくなって助かってます。(以前よりは口の横が裂けやすい気もしますが、一長一短！)



余談:ある時、密封しすぎると良くないと言われ  
チャック付き袋のメーカーに問い合わせた所、  
「熱で溶着した左右からは空気が出入りするので  
完全な密封状態とは言えません…」との事。



☆暴風雨 対策、それは三匹の子ブタの物語…。

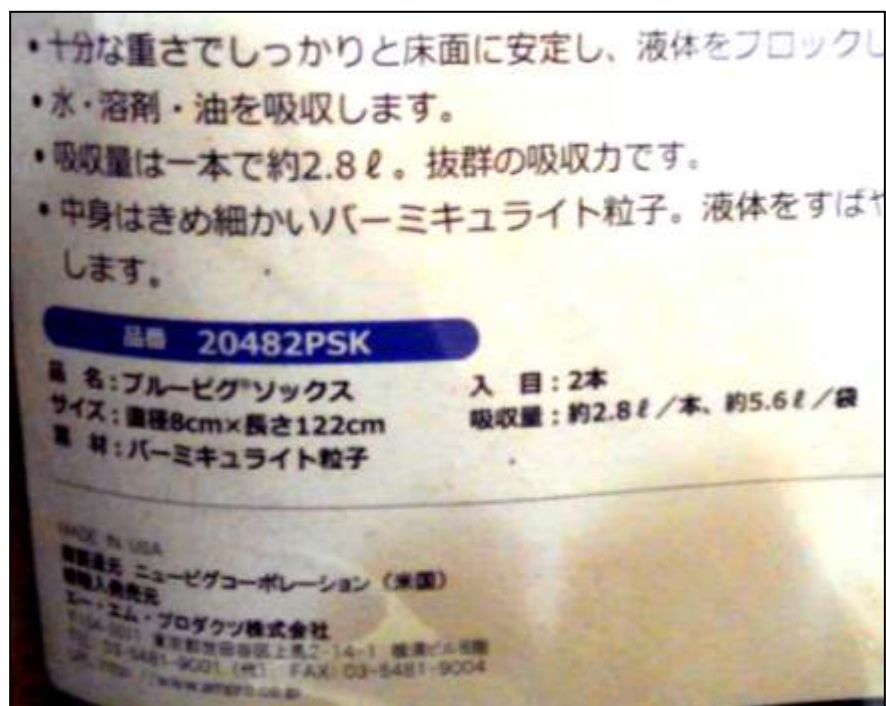
風が強く、叩きつけるような雨の降った翌日は、戸口が水浸し…、なんてことも。隙間から雨水が入らないよう、ソックスタイプの吸収剤を検索！

某社のスーパー ピグ ソックスを検討するも、通販では20個セット(2万円)しか見当たらず…。

別件でカインズ(ホーム センター)に行った際、スマホを使って写真を見せると、「(全く)同じものはありませんが…」と、同じメーカーのブルータイプ(20482PSK)2本入を紹介されて購入。

(※今回みたいに在庫があるとは限らないので、行く前に電話で在庫を訊ねるのがベター！)

台風の季節、これでボー・フー・ウーに対抗します。  
ブー・フー・ウー? はて、何の事ですかな?



## ☆手袋で 検品手荒れ 防ぎましょ

インドやネパールへ行くと『異国にいる』緊張で免疫も低下。素手で沢山の商品を選んでいると、ツメの間からバイキンが入って化膿することも…。(完治まで一年！)そこで**綿**手袋を着用。黒く汚れていくので、モノタロウあたりで安いのを買って使い捨てにしています。(ビニールだと蒸れて湿疹に。こちらも治るまでに何年もかかることが…)

シンギングボウルの検品でも、ボウルに指紋の跡が付着しないよう、手袋を着用して検品。特に、塗装されたボウルや、表面を紙ヤスリで研磨したマット仕上げ(?)のボウルなどは、指紋が付着すると取り除けませんので。全くの無地であれば良いかと言えば、真鍮磨きでツルツルになる反面、ピカピカ光って、骨董風の雰囲気が無くなります。

※梅雨の時期など、手袋が湿気を吸って、湿疹の原因となるかも？ 適度に乾かしましょ～。



## ☆値上げ？

コロナの影響か、一部の製品が値上がってたり、時間が経つと ほぼほぼ 元の値段に戻ってたり…。

ドットライナー 3 個入を いつもの所で買おうとしたら、2020/07/28 現在、同 1 月の 1.58 倍に…。

さっそく [価格.com](https://www.kakko.com/) さんで最安ショップを調べて、楽天とヤフーに出品中の某ショップ(コクヨ製品が安い!)で、これまでと ほぼ同じ価格で購入。

※正式名称で検索しても、最安ショップが表示されないことも…。『安い順』にするのも忘れずに。

包装コストの関係か、15 個入・30 個入よりも 3 個入が安いです。送料無料をねらい、つけたしで B5 サイズ リングノートを買おうとしたら、他のショップより 30% 安かったの、次からはここ d

コンビニ前入金(※手数料無料)で、すぐに届き、めでたしとなったものの、『お徳用のロングタイプもあるのでは…?』と探してみると、テープ幅 +1.6mm, 長さ+20m、16% 割安がありました(汗)

ただ、すこし大きいので、手のサイズによっては持ちにくいかも…? とレビューにあり。詰め替えテープがすぐダメになったというウワサも。

(※ふつうのヤツ同様、落っことした衝撃で内部のツメが外れただけかも?)

なんにせよ、スタツフに実際に使ってみてもらってからとなります。

## ☆匂いはマヒするもの也…

鼻毛は湿気を保持、ウイルス侵入を妨害しますが、匂いの吸着もします。ニンニク, ○○, ××, etc…。

初めこそ、「キツツイ匂い、してまっせ〜？」と脳にと報告が行きますが、時間経過と共に「何度も同じ報告はいらん！死ぬ訳でもなし…。黙つとれ！」となり、嗅覚がマヒ。

かくして、本人は平気の平左、周囲は地獄、負の構図が完成。鼻毛を切れれば匂いに気づきやすくなりますが、切りすぎると細菌やウイルスが侵入

(ぬるま湯を軽く鼻から吸って出した後、鼻血の時のティッシュのコヨリを入れて、鼻の上から抑えつつ、ゆっくり抜けば、少しはとれるかも…。)

よく、お香は匂い消しと言われますが、基本、匂いを誤魔化す煙幕程度…。本当に匂いを消す方法は、重曹に吸着させて捨てるなどが有名ですね。

○○や××の匂いは穀物酢が有効だそうです、消臭できない！とパニくるも、実は自分の口と鼻に既に付着してたりも…。お酢入りの水でうがいしても、少しマシになる程度ですかね… (汗)

インドの空港に降り立つと香辛料の匂いがしますが、逆に来日側は魚や味噌の匂いがするそう。

身近な匂いは脳が無害と判定、無視してるんですねえ…。(逆に煙の匂いなんかは、山火事を避けるためにも最優先？ タバコとかも??)

☆元請けイジメ？ 耳<sup>(イヤ)</sup>寄りなイヤ～な話。

インドやネパールの貿易商の家業は一つだけ。基本、専門外の品を頼まれた場合は外注です。(家業なのに下請けに投げたり、サンプルを作る自社工房を持ってる！と言いながら実際は下

では、貿易商を通さず、下請けと直接、取引すれば安く買えるのでは？と言えば、答えはノー。

日本でも一部？そうですが、他人は家族 or 獲物、と極端！「我ら、生まれた日は違えども…」という感じでファミリーの盃を交わしておけば、少なくとも 貿易商 自身(※本人)は裏切りません。

但し、専門外の品物については、ズルを見抜けなかったり、職人にウソで丸め込まれたりも。

あと、注文量が少なかった or 値上げを拒否したなどの経緯があったり、もしくは資金力がない為、力関係的に押しきられたりも…。

ただ、資金力があればあったで、つまり魚心あれば水心…。何かと言えば、~~たかられ~~頼られるので、辛いそう。(例えば、2016年の紙幣 切り替え)

特に年末近くのティワリ(・フェスティバル)は、多民族のインド・ネパールの各宗教・各宗派・各民族のお祭り(祝祭日)が連結。



期間中は、みんな遊んで仕事をしません、その遊ぶ金は元請けが出しています。と言うか、出せる金が無い貿易商は、言うことを聞いて貰えず、また、タツプリ出せてないと、手を抜かれたり、材質を落とされたり、後回しにされて納期が遅れたり、渡した高価な材料を売り飛ばされたり…。日本の自動車メーカーが長年、**国内**下請けからの仕打ちに耐え続けてきたように(ry (要出典！)

元請けとしては金を出さざるをえない訳ですが、「パーティーやるから、金くんろ♪」「バイク、買いたいから お金 チョーダイ☆」

某 貿易商いわく、(T\_T)「嘘でも良いから、『品質向上の為、設備投資資金を…』とか言ってくれヨ！」(コイツら、遠慮 無さ過ぎ！)

さて、社長自ら雑巾がけは恥！という、日本と真逆?の風潮があり、**取混** 50~200 万円 程度の小さい(!)仕事は社員に丸投げの貿易商も。ただ、下手に社長自ら手がけると、社員になめられ、命令を聞かなくなるのだとか。(会社による?)ただ、見られてないのを良いことに、社員が下請け工場と組んで不正を働くこともあります。

とは言え、このあたりが大成するか の分かれ目。とある、国から表彰されたインドの貿易商は、



友人から「お前はインド人じゃない、日本人だ。」  
と言われた程。

逆に、家族の関係ではないにせよ、それなりに  
付き合いが長いのに 偽物を掴ませておきながら  
認めず・謝らず・弁償しない人も。(出入禁止！)

## ☆ハテハテ結婚式

インドの結婚は、昔の日本同様、お金持ちなら  
日本の感覚で一億円くらい結婚式にかけてます  
…もとい、かけてました(今もそうかは不明)

親族全員を高級ホテルに集め、3日間ぐらい  
パーティー。インドの知人いわく、「現金を配る  
方が余程 良い筈だし、無駄だと分かっているが、  
まだ今の時代は、やらざるをえない…」との事。

今と違い、昔は一食にも事欠く事が多く、  
栄養価が高い(病気を防ぐ)、ふだん食べられない  
(おいしい)料理を山ほど ふるまわれ、「一宿一飯  
の恩」な感じで、オミヤゲも大量に持たされたら  
「コンゴトモ、ヨロシク♪」となり、あらためて  
結束…もとい、非常時には助け合うことを確認。

※もし助けなかったら、一族から村八分！

日本でも、持参金が少ないと お姑さんから一生  
イヤミを言われたり…。(アジアも地域によつて  
は、花嫁が火あぶりにされたという話が…)  
人によっては、子供の為にお金を工面しようと

顧客を意図的に だますことも あるカモ？

☆時には貿易商自身がカモられることも…。

外国から頼まれた品を工場に発注。全額 前金で支払い、期日に受け取りに出向いた貿易商…。

「すみません。頂いた お金では材料が揃いませんでした。あと もう少しで完成するのですが…。

~~物価の高騰ってヤツのせいなんだ…。」~~

「なんだって？ それは、本当かい!？」

慌てて必要と言われた金額を支払う貿易商。

やおら “パン！ パン！” と手を叩く工場長。

するとガラガラ～と完成品が部屋に運び込まれ…、

「おお…。今、完成したようです。」

後日談「~~ユ○ドラシル、絶対 ゆるさねえ！~~

アイツとは、二度と付き合わん！」

あと、弊社の体験談ですが、キンピカの真鍮製お香立てを頼んだのに、白い真鍮?製(お前のような真鍮があるか!)が届いた事も。オマケに竹芯香の竹芯を差す穴が開いておらず…。真鍮と違い硬い為、ドリルで穴開けも出来ず廃棄処分。

こんな話は、思い出せばキリがありません。

☆ノック式って、便利だねっ☆

ボールペンでもマジックでも、ノック式の方が便利！という事で、ペンテルの油性 中字を採用。(カートリッジ式でインク交換も可能)もっとも、芯を出しっぱなしだと乾いてパーになります…

って当たり前ですね。一回やらかしましたが、丁度 マニキュア用の除光液が あったので、ペン先ならぬマジック先を漬け込んだら復活しました。



昔なつかし、魔法のインキマジックも、替え芯と補充インキを購入して使い続けてます…が、キャップが硬い上、冬場なんかは突起部分が痛いんですよね…とっていたら、いつの間にかモデルチェンジ。開けやすくなりました。

替え芯を一度 引っこ抜いて逆さに差し替えたり  
(※形が崩れてない方を先端にする)、向きを調整  
したりする時は、ぶっといペンチを使っています。





☆フラップ ストッパー、ある ある。



ダンボール箱のフタを固定しておけば、箱からの品の出し入れが格段に楽になります。(アロマブームで連日 出荷していた頃、大量購入したのも良い思い出…) ただし、ストッパーを差し込んだままで ウツカリ、フタをウリヤツと持ち上げたら、‘パツ…キーン!’ と壊れます。ナ～ム～…。(これまでトータル 20 個以上は壊してるかと…)



あと、箱のダンボールが厚い場合、無理に差し込むとストッパーが傷みます。

(樹脂だもの。弱くたってイイイジャナイ?)  
中身がミツシリつまっている箱でもアウト。

### ☆ダンボール箱の品質

ダンボール箱 製造時、ダンボール板を切断したり折り目をつける器具は だんだん傷んでいきます。交換費用もバカにならない為、工場側は出来るだけギリギリまで交換を控えます。しかし、傷んだ器具で製造すると、全体的に不良品ぎみに…。  
(一部は本当に不良品！)





機械本体の更新でもギリギリまで粘るため、更新時期に かし合うと(以下略)。新しい機械の使い始め、まだクセが読めない為、問題発生率UP。(プリンターラベルのズレ補正と同じですな…)

貼り合わせ箇所が上下 or 横方向にずれてたり、組み立てたら裂けたり。何度か業者さんを(理由はその都度 違いますが、)変えたものの、日本国内だからと安心せずに、納品されたら 面倒でも何枚か組み立てて、品質チェックがベター。



☆シャーペンも新型が…！



ペン先がモグって芯が折れない、PILOT(パイロット)の Dr. Grip(ドクターグリップ)シャーペン エース 0.5mm HDGCAC-80R、送料無料のヨドバシサンで購入しましたヨ～☆

フレフレ&ノック式。フレスレはイヤだ！という方、普通にノック式としても使えるので安心。

少々値段は張りましたが、良い買い物でした。  
念の為、値段はその都度、他のサイトと比較して  
ますがネ。(世知辛い…)

### ☆外国に行った際に提出する小さな書類

ガイドブックで記入の仕方を紹介してますが、書  
式(?)がしょっちゅう変わる国だと、あまり役に  
立ちません。分からない記入項目を翻訳するため  
にも、電子辞書 持参がベター。訊ねてもよし。

### ☆一張羅で行きますか～？

現地の方からの忠告ですが、  
「高級ホテルに泊まったり、高い服を着ていると、  
『~~コイツは敗者だ!~~ コイツは金持ちだ! 余裕の  
あるヤツ相手なら騙しても許される!』と考える  
人が多いとか。 ※日本でも一部(?)、同じかと…。  
とは言え、銃を持った警備員が入口を守る所に泊  
まりたくはあります。あと、大成した取引先と普  
段着で歩いていると『金を持ってなさそうなヤツと  
歩いてるなア…。支払能力は大丈夫か?』と噂が  
流れるとかで、恥をかかせない為、それなりの宿  
と服装を手配することもあります。  
※高級ホテルの中を普段着でうろつくのもNG。

なんにせよ、滞在する国や状況によっては、すり  
きた服や くたびれた靴が必須かと。服や靴が古  
くなくても、捨てずに とっておきましょう～♪

☆むかあし、むかし、はるか彼方の国で…。

社長がサンプル購入のため、サプライヤーと共に市中のショップへ行くと、数ドルのものを100ドルと言われ、サプライヤーが普通の値段で売ろうと言うと、ねばって数十ドルで売ろうとしたそう。

また、ある時は 空港・ホテル間のタクシー運賃相場が現地通貨で60の所、600 ドルと言われて断ると、「ゴメン、ゴメン…☆ 間違えた♪ 100ドルだ。」流石の社長(怒)も意地になって、支払は60現地通貨で済ませ、チップもあげなかったそう。ガッカリした運転手…。「今日は、神に見放された日だー！」(←マテ) むしろ神様が「もうボツタクリするな！」って意味で、社長を遣わしたんじゃない？

☆裸の王様？

ある商品の製造元を変えろと言われ、サンプル拝見。よく分からないけど、何かがおかしい…。

「前と違ってませんか？」とたずねると、新しい製造元の職人から、『これは〇〇というデザインで平和の象徴だ。』と教えられたそう。

たまたま旧デザイン(※)が手元に あったため見比べてみると、新しい方は明らかに手抜き…。「こんな安っぽいデザインでは売れません。」と、これまでと同じデザインで通すよう指示。事なきを得ました。

バカには見えない服(分からないデザイン)…。

日本で職人サンと言うと手を抜かないイメージですが、そういった方は ごく僅か(←日本も含む)。

(※)日本に送る前の検品で難有品と判断された品。この商品は、材料と手間賃が すごくかかって高価。基本、安いものしか買わない観光客 相手には さばけず、誰も作らなくなつたのを弊社専用に開発。反面、よほど ひどいものの以外は、後日 選抜の上で買いとる約束。(丁度、その選抜の日に 新しいサンプルを見せられて 良かった、良かった…。)

☆コロナでネパールとインドからの仕入れが完全ストップ。国内で(自前で)作るしか…と、シリコン型を使ったレジン製アクセを計画したら、毒ガスが出るとかで(特に安物は強烈だそう)健康面 & 予算面でアウト。(ガス マスクや特殊な手袋が必要だとか…。防毒フィルター付き換気扇があるグローブ ボックスとか 出ませんかね…?)

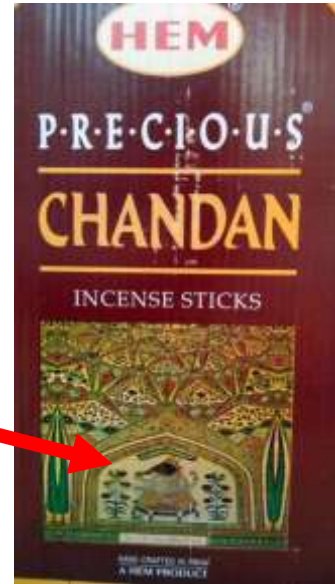
仕方なく、某 樹脂粘土で代用したら、個人的に 合わなかったのか、常温の時点で匂いにやられて気分が悪くなり…。しかも、お湯を一滴も使わずホットプレートで空焚きしたせいで、件の匂いが社内に充満。(吐き気・頭痛)

匂い移りも強烈かつ、何を試しても脱臭できなかった為、色々 捨てたりも。新製品開発の筈が、お掃除タイムに早変わり。ドット払い。



☆こんなところに…

日本国内一番人気のインド香 ヘム チャンダン。  
パッケージをよく見ると、あら不思議！  
こんなところにガネーシャが！



☆ああ、お客様…？

インターフォンって、便利だねっ☆

人数が少ないときは、自動ドアを電源オフの上、錠もロック。インターフォンの出番です。

トラ○ガン(アニメ)のセリフ、  
「すぐ そば に～～！ ～～、ドアフォン！」  
を思い出します。



## ☆コロナで開店 休業

いらない書類をシュレッダーで1枚、2ま〜い…。梱包材(の山)が完成！以前、裁断片をそのまま梱包材に使った所、「捨てるのが大変！」との苦情が。

今回作った分は、使い古したチャック付き袋に詰めて、ガムテープで封。商品と商品の間に入らないときは、チャックの端を開けて空気抜き♪



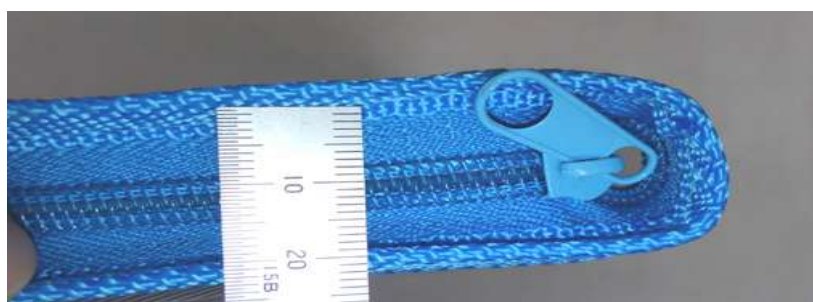
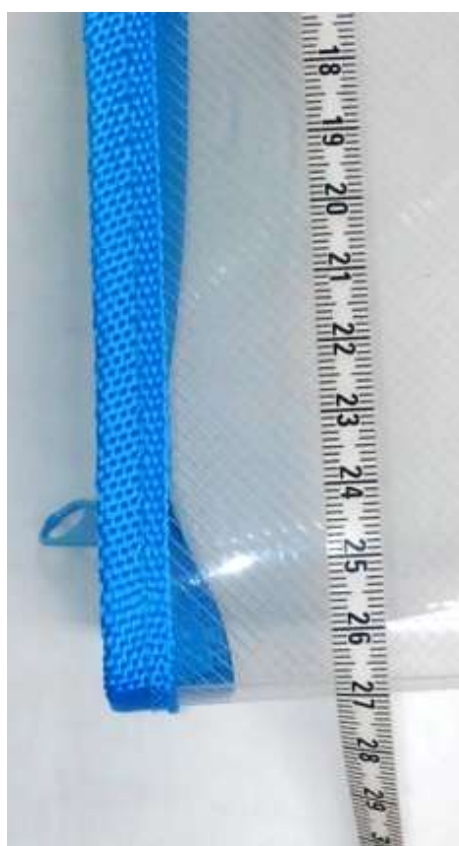
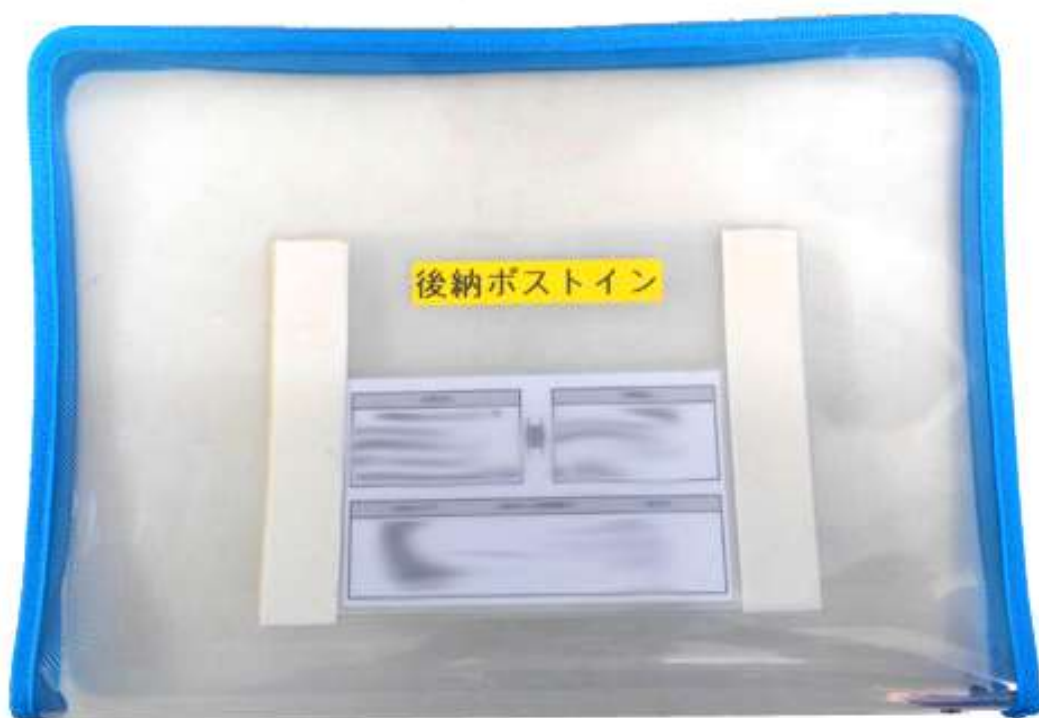
## ☆後納 郵便 と 後納ゆうメール 2020/09/30改訂

ゆうメール値上げで 展示会の案内状/招待状を後納郵便に切り替えたのも束の間。ドライバーさんによる後納**郵便**集荷は(大量でない)不可となるなど紆余曲折はあったものの、ポストインなるサービスに登録し、差出票と一緒に専用ケース(幅 38, 縦 27, 奥行 2cm.)に入れて指定ポストへ投函すれば少量でもOK、となりました。

ゆうメールも同じ集荷法となったものの、こちらは中身が信書だと確認できるよう、様々な手間が要求される為、余程 大量でないと思わないこととなりました。(考えてみたら、元々 大口用?)



商品を定形外 郵便で出す際、30cm近い線香こと、タジチベ等、レターパックでも無理なものは、当然ポスト投函 不可。切手を貼った上で、集荷のついでに持って行って貰うか、窓口 持参…。



※メジャーはドイツ製ヘキストマス。(150cm 限界に付き、サイズ計測には ちと不便) 定規はシンワ。



☆商品が小さくて代金が少額なら、  
ゆうちょ前入金からの郵便送付もあり？  
コンビニで切手を買って出すのも良いですが、  
商品のサイズ次第では、同じくコンビニで買える、  
スマート・レター ¥180(厚み～2cm・～1kg)、  
レターパック・ライト ¥370(～3cm・～4kg)、  
レターパック・プラス(※) ¥520(～4kg)も便利☆  
(※)プラスは安くないですが、対面 手渡しでハンコかサインを貰うので安心。  
但し、厚み制限がない分、3cm 超えてる場合に  
ポストには入らない可能性も…御注意！

## ☆インドのダンボール箱のラベル

2000年 初頭、弊社社長はインドの取引先を日本に招待。各分野に関して、直接の指導は元より名の知れた企業に工場見学の許可を頂いては連れて行くなどし、その中にはダンボール箱の会社もありましたトサ。

箱の強度や、中に詰める商品の限界重量、形状、ラベルの内容や貼付位置、防水にビニールシートを中に敷く等、かつて改良点は山のようにでしたが、今では信用も得て大企業となりましたトサ土佐。

(当時は、昔の日本と同様、床においたダンボール板を手に持ったカッターで カットしてました)

ネパールの取引先にも色々指導。木箱のカドに金具を取り付けて頑丈にする、持ちやすいよう持ち手(紐)をつける、降ろす際の衝撃緩和に緩衝材を入れる & 平らで小さな箱に小分けする、etc....

さて、インドのダン箱ですが、倉庫に置いてて問題が一つ。ラベルの印字が英語なので、パット見、何が入ってるか、頭に入ってこないんですね。

お金と手間は掛かるものの、ラベル作成ソフトで日本語ラベル(※但し、普通紙)を写真入りで作成、貼りつけてます。

※何回も使い回すものは、クリスタルパックに厚紙と一緒にセット。中身を入れ替える際は、裏面ノリ付近をハサミでカット、セロテープで封。



テープの端っこを折っておくと次に入れ替えるときに剥がしやすいです。まあ、PPも古くなると裂けちゃったりしますがね…。



### ☆納品書 封筒の宛名 書き

我が社では日本古来の作法に則り、納品書は必ず封筒に入れてお届け。『封筒は大切だ。古事記にもそうか』ただ、社内の行き違いでダブってしまったたり、ウツカリ書き損じが後を絶たなかった為、消せるインクのボールペンを専用に購入。

ただ、始めは他のペンと見分けが付かず、後でテプラで作った『納品書 封筒 専用』を貼付…。



☆3/11 以来、倉庫の商品(ワレモノ)が棚から落ちたら…と思うと安心して眠れません。そこで、ジャック(株)の結束ベルト(マジックテープ式)。細かい商品は、棚に収まるサイズのダン箱に入れた上で張ってます。(但し、外壁に近いと箱に熱がこもります。御注意！)但し、自転車 後ろの荷台に荷物を縛り付けるヤツとか、ゴムバンドはダメ！手で引っ張ると、ビヨ〜ン…と伸びるので、イザ地震という時には役に立たなそう。もっとも、ホントウの地震だと、棚ごと吹っ飛んだりするかも？ あってもなくてm





☆夢、破れたり…。

古銭が(縁起物として?)売れてる という事で、  
白檀で作れば大人気!(の筈だから)頑張って~☆

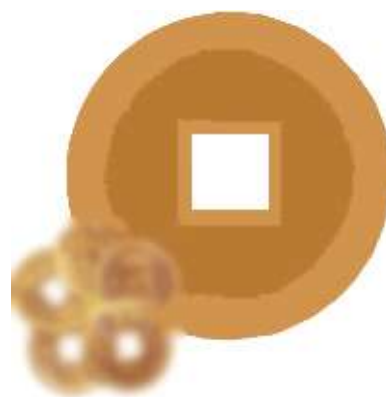
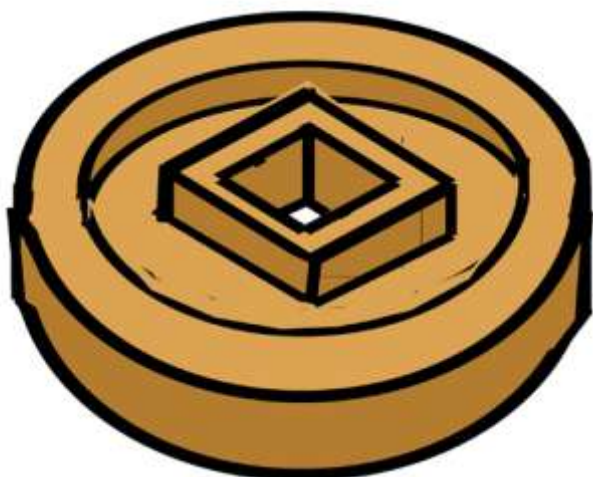
と、インドの親方に発破をかけてサンプル完成♪

しかし、ここで問題 発生! 木製だと軽すぎ、手  
の平に載せた時に コインとしての重量(ありがた  
み)がないのでした…。(ガックシ)

うすべったい金属製よりも径が大きく、厚みもあ  
るのにネ…。 金属製 2.5g : 白檀製 3.3g



Surface & Back side  
Both side Reentrant, Please .



Side



||



そう言えば、Y資金とか財宝詐欺で金塊(二セモノ)を見せつけて、「ただし、触っちゃダメだ。」と言われた、というのを思い出しました。(純金はやたらと重くて、生半可な二セモノは持っただけで即バレだとか。そこで重さの近いタングステンに金メッキした二セモノもあるそう。宝石も、半端な二セモノだと、見る人が見たらすぐに分かるそうで、『ただし、触っちゃd

☆ネパールからリン棒 到着したら、まずは影干し。



直射日光で乾かすと、ヒビが入ったり、ひわったり、反ったり、曲がったり…。

木材も人体同様、水分が大半。インドでは(工場

がケチらなければ、 )新型の機械で乾燥。現時点、ネパールには旧式の機械しかないらしく、到着時点で濡れてたりも。段々 水分が滲み出てカビます。

それ以外にも問題あり。発注書に写真・サイズを表示、材料には茶色く堅い Black Oak Wood を使うよう等 書き添えた上、実物見本も渡してますが…。

材料を勝手に変更。安く柔らかく虫が喰いやすい白木で作ってきたりも。密度スカスカ、フニャフニャ棒な感じで、音の鳴りにも影響。まあ、最終的には好みの問題。(ボウルをたたく、または当てがう箇所に虫喰い=穴埋め があると音質×…)

手打ちで表面がボコボコしてるボウルで小さいものだと、革のリン棒で回りを擦っても音が出なかったり…。この場合、柔らかい木が良い…???

白木をオレンジに塗って誤魔化したり(バレバレ)、指定より 1cm 短かくしてきたり、箱に入れるから短くないといけないのに 1ランク下の材料でしかし指定より長く作って、オトクに見せたり…。

以前、大型ボウル用の大きなリン棒を少量 お試し発注。出来が良かった為、大量 発注した所、持ち手を削る人件費・替刃代・電気代を惜しんだらしく、ぶっとい持ち手のリン棒が到着。手が小さいと握れません。(同じ手抜きでも握れればマシ…)

☆ペンチって、どれ？

パートさんから質問。

ペンチ？ ニッパー？ ラジオ ペンチ…？

わかんない☆ 説明 貼りますた↓





☆クリスタルパックの袋は、糊代(のりしろ)を剥がして開けると糊面ベタベタ…。オマケに開閉する内、裂けたりもする為、封の隙間からハサミを差し込みんでピィ〜ツと裂き、目玉クリップで封してあります。(※目玉クリップは稀にとっても堅いものがあるので御注意！)



あと、品番が印刷された紙を固定しとかないと、CPを取り出す際、一緒に引きずり出されて床にフワツ…！と飛んだり、スルツ…！と回転して読みづらくなったりも。紙の上下に裏からセロテープを貼って、袋の内側につけると◎。(※袋の外に貼りつける場合、他の袋とこすれたりして、はがれたり、裂けたりします。全周囲をセロテープで貼れば別ですが、それはかえって手間…)

あと、大きなCPは、折り目が見つからないよう、中に厚紙を敷いてます。これら要領の一部は、チャック付き袋やプリンタラベルにも応用中。





その都度、キツチリ チャックを閉めるべきなのですが、これが なかなか…。袋を持ち上げたとたん、バサ～ツ！となることも度々。(写真 左上 -)



日本の夏場は湿気る為、ラベル シートもフニヤフニヤに…。チャック付きにシリカゲルと一緒に入れるのも手ですが、プリンタにセットする際、シリカゲルを巻き込まないように注意！あと、シリカゲルは中のツブツブが紺色から小豆色(赤茶)になったら、湿気を吸わないそう。冬の乾燥時に外で乾かすと再利用できるようです。

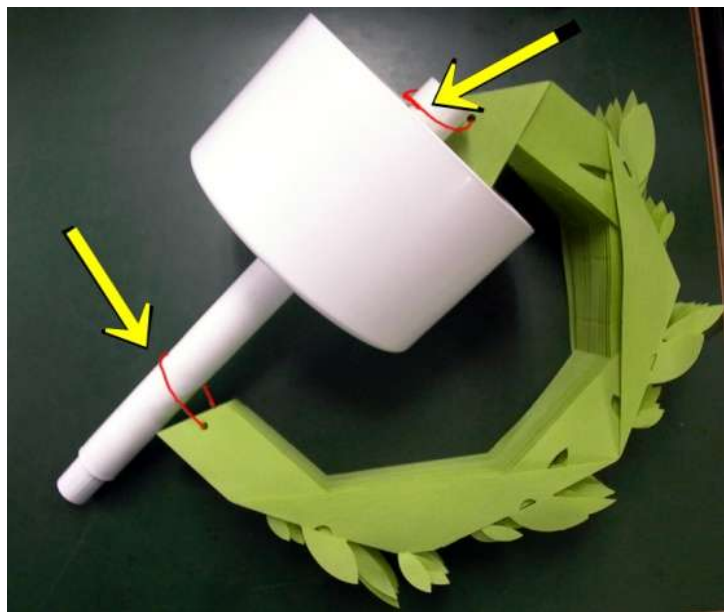
☆冬場の乾燥は風邪の元、そして風邪は万病の元。  
加湿器は、蒸気式だと窓や壁に結露、カビの恐れ。

弊社では強力な業務用の送風式を仕入れましたが、湿った冷たい風がゴォ〜ツ！と吹くと室温低下。エアコンで室温を上げると乾燥。そんな負のスパイラルを多少なりとも解消せんと、自然気化式加湿器ミスティツリー導入。

夜に不在の間も加湿。但し、水道水を使うとフィルターの葉っぱの先端に白いの(カルキ?)がこびりつきます。井戸水の場合は、フィルター表面に付着した埃を井戸水で洗浄して乾かせば何回か使えるかも…? **と思いきや、加湿効率が新品の半分以下に低下**。但し書き通り、3ヶ月経過で使い捨て前提で、フィルターの継ぎ目に(油性マジックで) **使用開始年月日**を書いておくのがベター。



買って組み立てる際、フィルターの上下の紐を切ると組み立てられなくなります。



あと、湿度計で湿度を確認して40度以上なら使わない方が吉。フィルターが上の桶から吸い上げた水が、途中で気化せずに首のお皿まで到達。

ドンドン水が溜まっていって最後には溢れます。

弊社では移動が楽なよう、台車に載せてますが、水をタツプリ注いだ後、うかつにオリヤツと動かすと、水がこぼれて台車と床がベシヤベシヤに。

(PS: 冬場のネパールに行く際は持ち運び式を持参。暖房の近くに置いてます。)





☆インド製 竹芯香 20本(六角箱入)

ブームの頃は、消費者 価格 ¥250~¥300。テパートでも売られていた、通称：六角香。今や不良品も激減！ 消費者の意識も様変わり、『中身が無事なら多少の箱の傷みはOK！』となり、百円ショップで売られたりも。(消費者 価格が下がりすぎて今では割りが合わn

かつては、海上輸送中に熱でやられたのか、香料の油分が箱に染みだして数千個がパー…なんてことも。品種によっては香料を変更して解決したそうで、但し 香りが変わってます。



メーカーによっては、最初から袋のクチを溶着してません。(香料の関係?)





また、これもメーカーによりますが、マスターカートンこと、ダン箱が脆く、中のインナーカートンこと、6個入箱が変形。中のお香の箱が潰れてたりも。今でも供給元に頼んで、頑丈な箱に詰め替えてもらってます。

メーカーのダン箱そのままだと↓





工場にはギロチンを逆さにしたような形状のアイロンがあります。お香の入ったポリ袋を手を持ち、袋端1cmの位置にホットになったギロチン…もとい、アイロンを押し当てれば、袋のその部分が熱で溶け、封が出来る訳です。

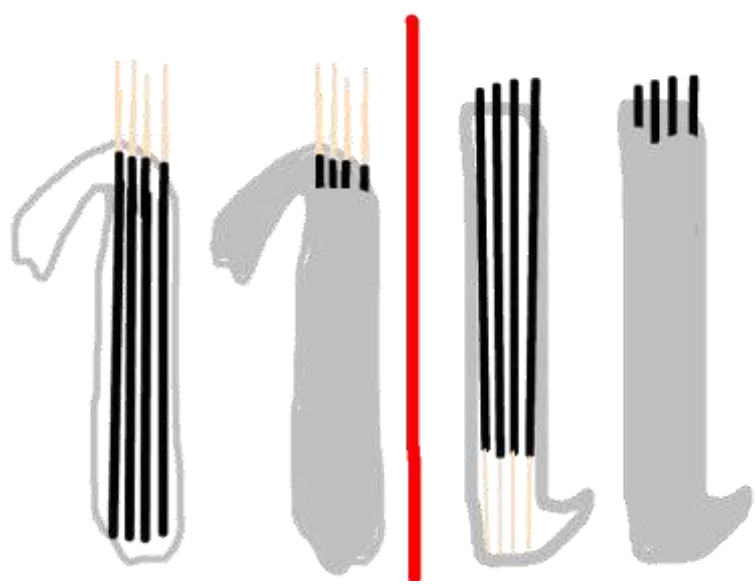
…が、丁寧にやらないと袋が千切れて隙間が↓お香の箱が香料で染みてるな〜…と思って開封したら、よくあること。これ以上、香料が揮発しないように…と、セロテープで封をするか、こちらで用意したPPに入れて封をして再度、封。



中に入ってる お香の長さギリギリの位置で溶着、ギリギリすぎたせいか、何かの拍子で竹芯が袋を突き破ってたりも。あと、箱への入れ方が悪いのか、悪意でもあるのか、1ロット数千個 全て、竹芯が思いっきり袋を突き破ってる…なんてことも。マシなヤツだけ、出荷してました…（遠い目）

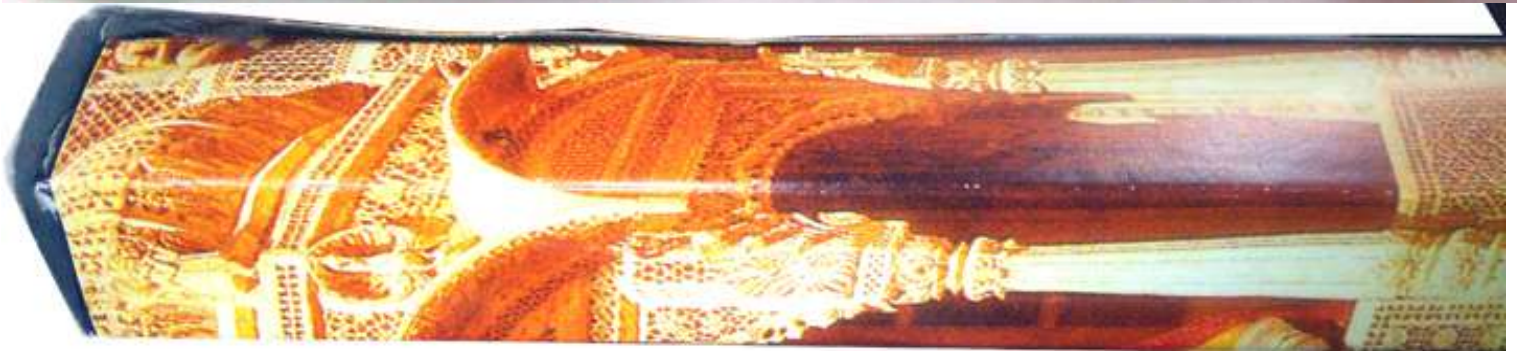
**※開封前からコレ→**

(稀に、逆さに突き破り)  
むき出しのお香が紙箱に  
触れて香料(油)が浸食。  
箱がベタベタしてて、  
お客サンが手に取ること  
ありえない…。



香料が染みだし、焚いた香りが薄い→廃棄 or 叩  
き売り。某イベントで安く売るのは その名残。

昔は1個1個を丁寧に検品。箱が裂けてりゃ、パ  
ズルみたいにピッタリ合わせテープで補修。箱の  
貼り合わせが剥がれてりゃ、両面テープで補修。



そも海上コンテナは、お日様に照らされて、中のお香が蒸し焼き…。お香の箱に鼻を近づけてはクンクン匂いを確かめてる お客サンをよく見かけましたが、アレは香りが箱を貫通してるだけではなく、それ以上に蒸し焼きとなった お香の香料が揮発、箱に染みついているのです！

(つまり、焚くときの香りが その分 薄くなっ t

その香料(油分)の揮発にやられ、紙箱のノリづけが剥がれてしまうことも…。特に働いてる方々が、面倒だからと手を抜いたのか、折り目をつけるのを怠っていると、日本に着く頃には、ほぼ全量がノリ剥がれ…。(痛い目を散々、見ました)

両面テープ代も、人件費もタダではないのですよ、トホホ…。

折り目をつけてない ↓



つけてある ↓







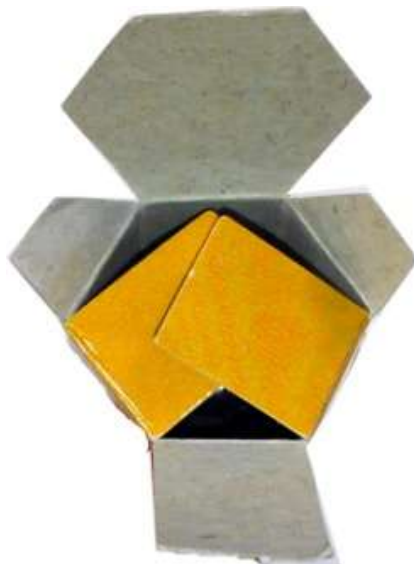
フタにズレありゃ、カッターで封をカットし、ズレ直し。下の写真①→②→③→④→⑤の正しい順にフタを閉じたら、セロテープで封。

正しい順に重ねれば、ズレず 強度も確保できるのですが、現地の人達は いまだに順番を守りません…(汗)。

①



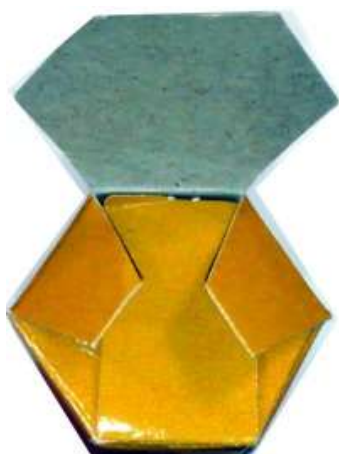
②



③



④



⑤



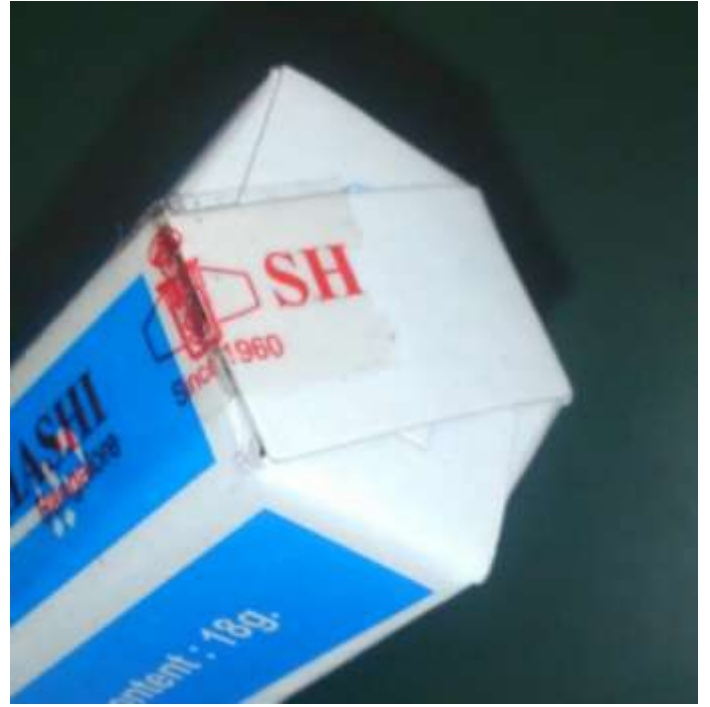


弊社のザ・セーフティ シリーズは、重ねる順番が分かるよう、フタに数字を印刷する予定でしたが、印刷されず…(原因は不明)

セーフティ シリーズは、自転車マークのサイクル同様、真ん中・長方形フタの先端にサック(?)がついてますから、③と④が逆となっております。)



昔は一番上の六角ブタが千切れてるなんてザラ。  
おかげで壊れ品が山のよう…。(特にデニム香)



オマケに、中の お香が飛び出ないよう 気を利かせたのか、テープでベツタリ封。見た目 最悪、補修しようにも包装を傷めず剥がすのはムリ。そも千切れたフタが見当たらず…。

「コッチで補修するから、余計な手出しはせずに  
(千切れたパーツと一緒に)送ってくれ～…(T\_T)」  
と泣きが入ったもの。

さて、インドで貼られたセロテープのはみ出た箇所や、日本で補修の際に貼ったセロテープの端は、丸章工業Silky(シルキー)ハイネバノンでカット。

普通のハサミだと、刃の厚みがジャマ。箱に沿って綺麗にテープをカット出来ないんですよね。

ハイ・ネバノンは刃が薄い為、ギリギリ ラインを  
ラクラク カット♪





・乾燥機には入れないで下さい。

注意書きは、保管して下さい。

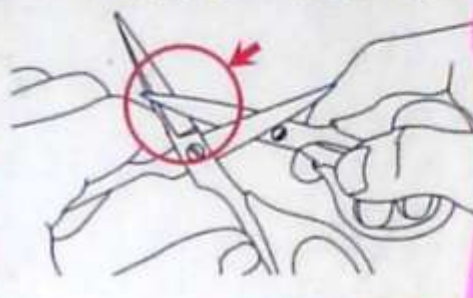
裏面もご覧下さい。

### ◇刃の研ぎ直し方法

●研ぎ棒を使った研ぎ直し方法



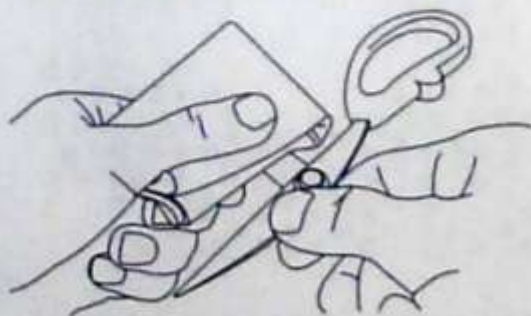
●ハサミの背を使った研ぎ直し方法



適切な角度で刃に当て、  
そこから前(刃先方向)に  
移動させながら、  
斜め下に下ろします。  
(左図参照)

### ◇フッ素のお手入れ方法

●まず、シンナーや市販のシールはがしスプレーなどを適量布に取り、表面についた粘着を落として下さい。



汚れが落ちたら、オイル  
(無い場合は食用油等)  
を布に染み込ませ、  
左図のように軽く拭いて  
下さい。

あと、一見して補修した(人の手が入った)と分かる  
と、消費者の気分が良くなかろう…と、セロテ  
ープ端のギザをいちいちカットしたりも。ハサミ  
にノリが こびりつき、切れ味が低下しては、ベン  
ジンと脱脂綿でクリーニング…。結構な手間でした。  
(※帰り際で、急いでクリーニングしてたらス  
パツ！と指に切り傷が…。) テープのギザ端は、切  
断面が綺麗な二チバン直線美 TC-CBP 導入で解決。  
とは言え、使っていれば刃も疲れていくのですが、  
なんと、替刃(別売)で新調 可能、と言う優れもの。



↑  
直線美の切り口

箱に香料による(?)油染みが あれば開封、お香の  
入ってるポリ袋の裂け目を(出来るだけ綺麗に)セ  
ロテープで補修。万引き犯が触ったかも？と思わ  
れないよう、テープに検品済シールを上貼りした  
上で、箱に戻して封。ダンボール箱から1~2個、  
抜き取りチェックの際も、袋はカッターで綺麗に  
切れ目を入れ、チェック後はテープで切れ目を塞  
ぎ、その上に検品済シールを貼ります。(袋が色無



しでもカビは意外と見えないもの。半透明でも油断せず、中身をダイレクトに確認！)

基本、開封した これらは安く販売してますが、馴染みの業者サンが お待ちかねで、即 完売。

☆雨が降っていると、エアコンの室外機や郵便受けに水滴が ” ポツタン！ ポツタン！ ”。

建築屋サンに相談すると、「人工芝をカットして、屋外用・防水タイプの両面テープで貼ると◎。」早速、ロイヤルホームセンターで人工芝を買ってきましたが、~~余りました…。何故って、水滴が落ちてくる箇所だけ、カバーすれば良かったのに、律儀に全ての面積をカバーできる量を買ってきたから…。orz~~

風が強いと、カバーしてない箇所にも水滴が…。必要最低限の面積だけカバーしてメテタシとはなりませんでした。orz 風があまり無い所、水滴の発生場所と落下箇所との距離が近い場合は別…。

両面テープは、量が必要ない事と、新しく買うと一巻きの量が多く値段も張る為、購入せず、手持ちの屋外用を使用。強風が来ない場所だからか、今の所は持ち堪えてます。



☆カギを鍵穴に差し込む際、どちらを上にして差し込むか、迷いますよね？ 目印にシールを貼るのも◎。裏表で動物さんの表情が異なるキーカバーなんてのも ありましたが、鍵穴が縦のタイプだと通用せず…。

仕方ないので、カギを赤マジックと青マジックで半々に塗ってみました。阿修○ 男爵？ セロテープで保護しないと、だんだん色が落ちていきます。差し込む部分は保護のしようがないので、塗るべきではありませんでした。



☆お客様の買いものカゴが満タんで 更に買い物をされる場合は、一旦 そのカゴを引き取り、カラの買いものカゴを お渡し。満タンのカゴは別の場所に置き、他の方が触らないよう、取置中カードを載せてますが、中には それでも漁ってしまう強者(?)も…。(何故に?)





☆とても便利だ、ドットライナー♪

長年使っていると、テープが弛んで(たるんで)捨てる事もシバシバ。

(メーカーのHPを見ても弛みが取れず…)ある日、ケースからテープを外してみると、はめ込み部分のツメが外れてました(汗)。しかも片方は白化して癖(?)までつき…。セロテープを包帯代わりにして無理矢理固定してみたら、見事に復・活デス！ そう言えば床に落っことした時の衝撃で外れたのかも…。(自業自得！)





☆季節は夏。高級お香をインドから届いた箱のママ 倉庫に置いてたら、エクセレントな香りがプーン プーン！ 柔らかい系のダンボールは保温性（保湿性？）が高いようで、窓側に置いてた訳でもないのに、ヌック ヌク…。

直ぐに箱から取り出し涼しい場所へ。窓・壁・エアコンは鬼門なのは書きましたが、壁に触れててもアウト…。外壁が日光で熱されてホツトになると籠もった熱が伝わって香料が揮発。でも壁から或る程度 離せば◎。まあ、奥行きに余裕がないと棚から手前に落っこちますが…。



